

Yahoo! JAPANの「未来に残す 戦争の記憶」プロジェクトで、戦時中の新聞紙面と現代の新聞が再編集した紙面を展示するイベントを実施

～ 神奈川新聞、東京新聞、西日本新聞、琉球新報の全4紙を展示。

本日から8月15日まで、どなたでも無料で閲覧可能。～

未来に残す 戦争の記憶

ヤフー株式会社は、戦争の記憶と記録を伝えるプロジェクト「未来に残す 戦争の記憶」（以下、本プロジェクト）の一環として、戦時中の新聞紙面と、当時の資料や体験者の証言をもとに戦後の新聞が空襲など戦時中の出来事を再編集した紙面を展示するイベントを、本日より8月15日までの間、本社である紀尾井町オフィスで実施します。

本プロジェクトは、多くの情報を長期間保有しやすいインターネットの特性を活かして、戦争体験を未来の世代へ伝えることを目的に、戦後70年を迎える2015年に開始しました。サイト上に掲載するコンテンツは随時追加しており、2016年には兵士が家族や知人宛てに戦地から送った手紙を読み解き、手紙の画像とともに紹介するコンテンツ「軍事郵便で見る、戦争の記憶」を公開しました。

今年6月には、福岡市に拠点を置く西日本新聞の協力により、現在の記者が1945年6月19日に起きた福岡大空襲を新たに伝える紙面やその背景について紹介する動画コンテンツ「70年の時を超えて伝える～福岡大空襲～」を公開しました。

終戦の日である8月15日を前に、より多くの方にこの取り組みを知っていただくとともに、戦争について考えていただくきっかけとなることを目指し、西日本新聞に加え、神奈川新聞、東京新聞、琉球新報の協力を得て、各紙の戦時中の新聞紙面と、戦後の新聞が再編集した紙面、全4紙の展示を開始しました。展示は終戦記念日である8月15日まで、ヤフー株式会社 紀尾井町オフィスでどなたでも無料でご覧いただけます。

（※展示をご覧いただくにあたっては、ヤフー株式会社18Fのコワーキングスペース「LODGE」受付にて入館の手続きをお願いいたします。身分証が必要となりますのでご注意ください。）

本プロジェクトでは、戦争の記憶と記録を未来の世代へ残すため、今後も内容を追加しながら情報を保存、公開してまいります。

【「未来に残す 戦争の記憶」～戦争と地方紙～展示概要】

日時：2018年8月2日（木）～8月15日（水）10時～19時

場所：ヤフー株式会社 紀尾井町オフィス 18階受付エリア

（千代田区紀尾井町1-3 東京ガーデンテラス紀尾井町 紀尾井タワー）

展示紙面：

神奈川新聞、東京新聞、西日本新聞、琉球新報（全4紙）

※どなたでも無料でご覧いただけます。展示をご覧いただくにあたっては、ヤフー株式会社18Fのコワーキングスペース「LODGE」受付にて入館の手続きをお願いいたします。身分証が必要となりますのでご注意ください。

▼展示の様子

